

## 2009 年度 無差別殺傷事件からみる若者を取り巻く社会状況と課題

### 無差別殺傷事件からみる 若者を取り巻く社会状況と課題

保健栄養学科保健養護専攻 4年  
石井 恵理 櫻庭 有香里  
教育学研究室 橋本 紀子 教授

### 課題意識・目的

・若者に多い無差別殺傷事件の加害者の共通点として、雇用環境、養育環境への不満がある。これに対して加害者の意見に賛同し、擁護する者が若者に多くいる。このことに関心を持ち、以下のような点を明らかにしたいと考えた。

#### 目的

- 1) 若者はどのような労働環境、家庭環境におかれているのかを検討する。
- 2) 若者は同世代が起こした犯行をどう考えているのかを検討し、社会が取り組むべき課題を見出す

### 研究方法

- ・ 1) 関連資料および文献の収集と検討
- ・ 2) フリーター全般労働組合での情報収集と検討
- ・ 3) 半構成的面接法による若者に対する聞き書き調査

### 無差別殺傷事件の定義

・無差別殺傷事件とは

人の自由に入出りできる場所において、確たる動機がなく、通りすがりに不特定の者に対し、凶器を使用するなどして、殺傷等の危害を加える事件を言う。(警察庁より)

・無差別殺傷事件の認知・検挙数

平成20年は14件で統計開始以降過去最高  
(平成20年の犯罪情勢より)

### 近年起きた主な事件の概要

#### 秋葉原無差別殺傷事件(平成20年6月8日)

・概要…派遣社員の男(当時25歳)は、秋葉原の歩行者天国において、貨物自動車で赤信号を無視して交差点に突っ込み数人をはねた上、降車して歩行中の男女をナイフで突き刺すなどして7人を殺害し、10人に傷害を負わせた。

・生い立ち…県内トップの県立高校を卒業後、自動車関係の短大に進学。父、母、弟の4人家族で、母親から虐待とも言える厳しい教育を受けて育ち、両親への不満が募っている。

・労働状況…短大卒業後は、警備会社や運送会社に正社員として就職するが辞職した後に、派遣社員としていくつかの県を転々とし、また派遣社員として自動車工場で働くこととなった。犯行直前の5月下旬、派遣の契約が切れることを聞かされていた。

・識者が挙げる事件の背景と要因…労働環境、秋葉原の治安の悪化、孤立に陥った末の犯行など

#### 土浦無差別殺傷事件(平成20年3月23日)

・概要…無職の男(当時24歳)はJR常磐線荒川沖駅改札口付近において、男女8人を刃物で切りつけるなどして1人を殺害し、7人に傷害を負わせた。男は3月19日にも土浦市の民家において、男性を刃物で突き刺し殺害していた。

・生い立ち…四人きょうだいの長男。家族関係は希薄であった。自己愛性人格障害と診断されている。

・労働環境…進路が決まらないまま高校を卒業する。  
高校卒業後はアルバイト生活を送っていた。

- ・識者が挙げる事件の背景と要因…
- ・社会が閉塞状態であること
- ・テレビゲームや映画の影響
- ・若者の自我が確立していないこと
- ・絶望的な状況であったこと

## 加害者の共通点

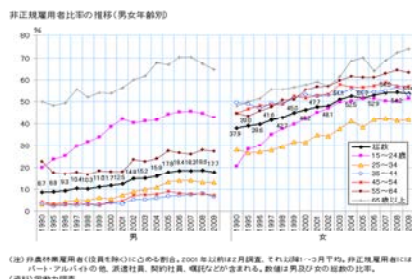
- ・識者やメディアが取り上げられているように、派遣社員やフリーターという不安定な職についていた点
- ・厳しすぎる教育、無関心と放任など、不自然な家庭で育ち、両親への恨みを持っている点
- ・犯行の動機を「誰でもよかった」と供述し、死を望んでいる点

## 若者を取り巻く労働環境

## 非正規雇用の増大



## 非正規雇用者の実態



## 非正規雇用者が抱える問題

### ①職が安定しないことによる精神的不安

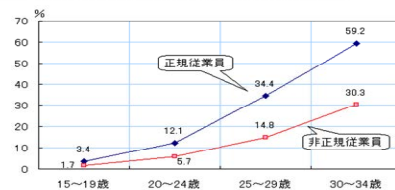
月や年単位で雇用契約をしているために、契約が切れ、その後の職が見つからなければ、収入がなくなり、路頭に迷う生活が待っているかもしれない。

### ②低所得により将来への展望がもてない

- ・正社員と非正規雇用者では、若いうちは収入に格差はあまり見られないが、長期的に見ると、非正規雇用者の賃金は、正社員と比べてかなり安いものである。  
(平成20年賃金構造基本調査より)
- ・男女共に、所得額が高くなるほど、結婚した割合が高くなる。  
(第6回21世紀成年者縦断調査より)

### ②低所得により将来への展望がもてない

正規・非正規別の結婚している比率(男性雇用者、2002年)



(注) 在学者を除く。総務省統計局「就業構造基本調査」から特別集計。  
(資料) 厚生労働省「平成18年版労働経済の分析(労働経済白書)」

### ③少子化・晩婚化の増大

収入が安定せず、低所得である可能性が高いために、経済的に子どもを育てることが難しいため、少子化・晩婚化が進む。

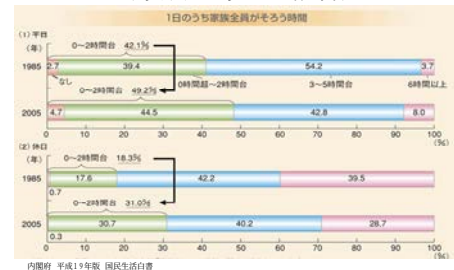
### フリーター全般労働組合での取り組み

- ・フリーター全般労組の主力は20代・30代  
加入者の2/3は20代、30代で残りの1/3は50代以上
- ・フリーター全般労組に持ち込まれる相談内容  
パワハラ、セクハラ等の問題から不当解雇、給料や残業代が支払われない等の生活に密着した問題

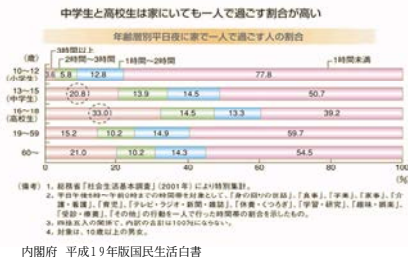
フリーター全般労組での聞き書き調査より

### 若者を取り巻く家庭環境

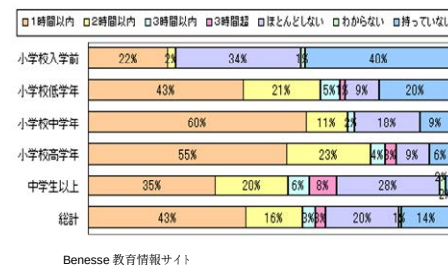
### 若者を取り巻く家庭環境① (家族の与える影響)



### 若者を取り巻く家庭環境② (家族の与える影響)



### 若者を取り巻く家庭環境③ (家族の与える影響)



### 若者を取り巻く家庭環境④ (家族の与える影響)



### 若者を取り巻く家庭環境⑤ (家族の与える影響)



### 無差別殺傷事件に対する同世代の意見

- ・これまでの性別役割分業社会ではプライドの高い男性の方が長期間の非正規雇用には耐えられない
- ・非正規で採用されると帰属する集団がなく、信頼できる人間関係を築きにくいことから孤立しやすくなり、若者を追い込む原因となる。
- ・家と会社の往復を繰り返し、機械のように長時間労働を強いられることで体調や精神に支障をきたす。
- ・「殺したい願望」には同感できない。

同世代の聞き書き調査及びインタビューより

### インターネット上での 秋葉原無差別殺傷事件に対する意見

- ・加藤の事はマジで尊敬している。  
時代の代弁者だと思うな。  
死んだ奴らに悪いが俺は加藤に感謝する。
- ・事件を起こして無罪主張しているならともかく  
死刑になりたくて人を殺すことの何が悪いの？  
被害者が馬鹿なだけだと思うが。
- ・加藤様が神、だとは思わないが  
加藤様は俺らのシンボル、象徴  
(2ちゃんねるの事件に関する書き込みから一部抜粋)

### まとめ

不安定な労働環境は従因にすぎない。  
大切なことは誰かに必要とされ、誰かに認めてもらうこと。

そのためには、帰属する集団が必要である。

ご清聴ありがとうございました